



PROFILE

1932年生、金山町。37年間教員として県内各地で勤務し、1993年に定年退職。その後は、市社会教育指導員や中学校の心の教育相談員などを務めた。2003年10月に金山地区公民館長に就任し、2006年からは「金山わんぱく塾」を主宰している。

わが町の
を訪ねて
ロマネス句

エンターテイナー「ちゃんサネ」さんが枕崎にゆかりのある人を訪ねインタビューし、ようよう一句ひねります。

file.19

昔から伝わるものを大切にしたい

金山地区公民館 館長

関 利治さん (81)

関利治さんの生い立ちは、父親が鉱業関係の仕事だったため転校に次ぐ転校であった。「いやあ、いじめられました行く先々で。それでも金山育ちの負けん気というか、いじめの大将をやっつけるまで立ち向かうんですよ、だから負けはないんです」。そう語る関さんは、今はニコニコして語られる柔和な方だが、昔は強面だったらしい。「前は目が「ギツ」ち鋭くてね、そろそろ怖かったんですよ」と、隣で聞いていた奥さんが教えてくれた。

関さんは教員時代、「特命」を受けて異動することが多かったそう。「あれは30代前半でしたかね、それまで勝負に勝つことが念頭だった保健体育の実態を社会体育という、全ての県民がスポーツを通して、豊かな社会へ向かおうという新しい概念に変えていこうという「特命」を受け、私は社会体育担当指導主事という立場で現場の先生方という議論しました」と、昔を振り返った。

「昔は水浴びをして15分も経つと体が冷えくんでなあ、岸辺の煮えたぎった日なたの石にベターっち腹ばいになつもんでしたが、兄ちゃんらが「待って待って」ちめて石に水をかけてくれました。濡らさない」と石に皮膚がはりついてしまうんですよ。水に飛び込む前には兄ちゃんたちが前もって川底を調べて、突き刺さるような流木やゴミなどをさらってくれるもんでした。そういうのを代々教えていく、そこが自然の中で遊ぶことの宝なんです」と関さんは語る。



▲金山わんぱく塾「川遊び」の様子

「むらおさの導きをこれからも」と願いつつ、継ぎ実らせたい。
こん道に ヒトツバ梅桃
植ゑもそか
(唱) 鉦道ん口まで 石刀節ゆ歌っ

食の時記
まくらざき味探訪

ビビンバ風どんぶりとつみれ汁

【ビビンバ風どんぶり】

- 材料 (4人分)
ほうれん草……………2輪
もやし……………1袋
ミンチ肉(牛・豚)……………約500g
たまご……………4個
しょうが(すりおろし)……………小さじ1
焼肉のたれ……………大さじ7
塩コショウ……………少々

●作り方

- ①たまごは半生程度にゆで、野菜は約1センチ幅に切る。
- ②大きめのフライパンに少々のサラダ油をしき、しょうがとミンチ肉を火がとおるまで炒める。
- ③②を焼肉のたれで味付けし、フライパンの半分に残し、空いたところで野菜を炒めていく。肉汁と焼肉のたれで味付けし、塩コショウで味を調整する。
- ④どんぶりにご飯を少し盛り、②を盛りつけ、最後に半生にゆでたまごを真ん中にのせる。

【つみれ汁】

- 材料 (4人分)
若鳥のミンチ……………200g
生キクラゲ……………1パック
エリンギ……………100g
レンコン(すりおろし)……………150g
薄口しょうゆ……………大さじ5
昆布だし……………大さじ2
塩……………少々
しょうが……………少々

●作り方

- ①水1500ccを沸騰させ、昆布だし、生キクラゲ、エリンギを入れる。
- ②すったレンコンとミンチを混ぜ合わせ、塩としょうがで味付けし、つみれを作る。
- ③②を①に入れ、つみれが煮えたら薄口しょうゆで味付けする。

「また作ってね」の一言がうれしくて、自分の料理を楽しむにしてくれる孫たちのために、栄養のバランスは必ず気を付けています。子どもたちは料理が出てくるのが待ちきれないので早く作れる事も大事です」と話す中村さん。子どもたちのために考えたオリジナル料理がいくつもあるそうです。



中村美穂さん(71・日之出町)

「美穂ばあちゃん、また作ってね」の一言がうれしくて、次々に料理を考案する中村さん。次に子どもたちが泊まりに来るのがとても楽しみです。

「また作ってね」の一言がうれしくて

枕崎漁港に水揚げされるうんまが旬の魚を紹介します!

マトウダイ

側面の黒い斑紋が弓道の的のように見えるからの鯛。群れずに海底付近にすることが多い。生き餌で釣れる。持つとグーグー鳴く。欧州では新約聖書に出てくる使徒ペテロの名前が付いている。イエスの指示で漁師ペテロがマトウダイ

の口から銀貨を取り出した。このペテロの指の跡が黒斑として残ったとする伝承がある。

刺身・煮付け・唐揚げ・フライ・鍋料理など煮ても焼いてもいける。肝はとても美味。おすすめはムニエル。

弓道部もマトウダイ食べて試合に臨めば、優勝間違いなし!

【解説】
鹿兒島水産高校
町頭 芳朗 教諭

1963年生、千代田町出身。鹿兒島大学水産学部大学院を修了後に同校教諭。スクーバダイビングを得意とする。枕崎カツオマイスター検定講師

